

# 韮中だより

**9月** 葉

令和5年9月22日発行

## 1 学期末学校評価アンケートの結果から

1 学期末学校評価アンケートへのご回答ありがとうございます。主な項目についてお伝えします。昨年度1 学期末と今回の結果を比較しました。

評価項目 (A～Dの4段階で回答)		生徒(単位…%) R4→R5	保護者(単位…%) R4→R5
学校が楽しい	A+B	90.9→ <b>89.8</b>	93.8→ <b>93.3</b>
	A	55.9→ <b>50.9</b>	61.7→ <b>64.2</b>
信頼できる友達がいる	A+B	94.0→ <b>94.0</b>	91.2→ <b>91.5</b>
	A	76.9→ <b>78.7</b>	56.8→ <b>53.8</b>
悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる	A+B	90.7→ <b>89.6</b>	90.2→ <b>85.2</b>
	A	59.0→ <b>57.0</b>	38.0→ <b>28.2</b>
授業で学習している内容がよく分かる	A+B	84.7→ <b>82.3</b>	68.7→ <b>72.8</b>
	A	32.2→ <b>35.1</b>	22.9→ <b>24.1</b>
仲間と関わり、高め合いながら授業に取り組んでいる	A+B	89.0→ <b>88.5</b>	67.9→ <b>72.2</b>
	A	45.5→ <b>41.3</b>	22.0→ <b>18.7</b>
時と場に応じて、正しく判断し行動することができる	A+B	92.9→ <b>93.6</b>	88.5→ <b>87.7</b>
	A	49.0→ <b>52.2</b>	30.1→ <b>30.7</b>
自ら進んで委員会活動や学校行事に取り組んでいる	A+B	87.6→ <b>88.5</b>	87.9→ <b>87.7</b>
	A	57.9→ <b>53.0</b>	45.0→ <b>44.0</b>
自ら進んであいさつをすることができる	A+B	88.5→ <b>90.8</b>	83.5→ <b>85.2</b>
	A	57.9→ <b>55.7</b>	35.7→ <b>36.1</b>

昨年度と比較して、「Aそう思う・Bややそう思う」と回答した割合に大きな変化はありませんでしたが、ややA評価の減少が目立つ傾向にありました。その中でも、悩みや不安への相談対応の保護者の評価が大きく減少しました。生徒や保護者の悩みに素早く、親身に対応できるよう、学校全体で相談対応について改善していきたいと思えます。

学習面では、9割近くの生徒が前向きに取り組んでいる様子が読み取れます。しかし、他の1割の生徒にとっては、理解できず、友達と高め合う学習になっていないとも読み取れます。学校として、1人1人に応じた支援を行い、仲間と共に高め合い、考えを深めていく授業や体験を行っていきます。

生活面では、「信頼できる友達がいる」と答えた生徒が9割を超えました。困ったり悩んだりしたときに、自分の周囲に安心して頼ることのできる友達がいるのだと思えます。授業や行事、学級活動などを通して、仲間との関わりを大切にし、お互いを思いやり尊重する人間関係をより一層育んでいきたいと思えます。また、「自ら進んであいさつをする」と回答した生徒も約9割いました。これは、学校だけではなく、家庭や地域全体で子供と関わっていただいているからだと思えます。あいさつは、人との温かなつながりをつくる第一歩です。あいさつやお礼が自然に交わせる学校をつくっていききたいと思えます。

(裏面に続く)

## 保護者の記述アンケートから

### ① 部活動と放課後の過ごし方について

伊豆の国市の3中学校では、4月から部活動を含む教育活動を16時30分に終了することになりました。昨年度までの6・7月の部活動は17時30分頃までだったので、1時間ほど早い下校ということになります。このことについて、保護者の皆様から「夕方から夜にかけて、塾や習い事に落ち着いて行くことができるようになった。」「スマホやゲームをしている時間が長くなった。」「小学校のグラウンドで遊ぶ中学生が多く、本来使える小学生の迷惑になっているのではないか。」「生徒を家庭に返すことを目的にするなら、部活動の活動予定を早めに連絡してほしい。そうすれば、家庭で過ごす日や時間を考えることができる。」など、様々な視点でのご意見をいただきました。生徒には、放課後の過ごし方について継続して話をし、勉強したりスポーツをしたり、自分や家族のために余暇を過ごしたりできるよう、自分で適切に考え、判断し、行動する力を育みたいと考えています。

部活動は、国や県の部活動の方針をもとに、週4日以内（平日3日、土日どちらか1日）、平日は90分程度、休日は2～3時間程度を目安に設定しています。

### ② 保護者との相談（三者面談など）について

「子供のいない場で先生と相談したい。」「三者面談ではなく、二者面談がよい。」というご意見をいただきました。三者面談は、生徒と保護者の方と学級担任が、学校生活や家庭での様子、学習の状況、進路希望などを話し、生徒自身が自分を振り返り、新たな意欲につなげていくことが目的の一つになっています。保護者の方が子供のいないところで話をしたいということも承知していますので、その際は遠慮なさらずに、二者で面談する時間も確保したい旨をお伝えください。また、三者面談に限らず、担任や学年主任等と相談したいときは、いつでも中学校に電話していただきたいと思っております。速やかに対応させていただきます。

### ③ 学校や地域での子供のあらわれについて

学校生活や登下校中の様子、土日の地域での過ごし方など、生徒の気になるあらわれについてのご意見をいただきました。学校では、その都度生徒への指導とともに、保護者とも連絡を取り、指導への協力をお願いしております。学校、家庭、地域全体で韮山地区の子供たちを育てていきたいと思っております。

韮山中学校の教育活動をより充実させ、子供たちが安心して生活できる学校になるよう、1学期の学校評価の結果を生かし、改善していきます。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお祈りいたします。



## ～9月の学校生活から～

### 吹奏楽部校内コンサート

9月16日(土)に、吹奏楽部校内コンサートを行い、美しい音色を響かせました。3年生はこれで引退、新体制がスタートしました。



### 地域支援課指導訪問

9月13日(水)、教員の授業づくり研修のために、全校・全学級の授業を公開しました。友達と関わり、自分の考えを深めていく姿が見られました。

### 沼津特別支援学校 伊豆田方分校体験

9月19日(火)、7・8組の1・2年生が伊豆田方分校を訪問し、木工や農作業などの授業体験を行いました。

